

震災支援速報

オフィシャルサイト=<http://www.kagoshima.coop/rinji/touhoku-jishin.html>

2011年4月8日 発行
第9号 生協コープかごしま
震災対策本部:事務局
Tel 099(286)1111

思いを届けてきました

第三陣が7日に帰鹿しました。

4月7日(木)のお昼に、宮城へ行っていた支援第三陣メンバーが鹿児島へ帰ってきました。

第三陣は4月

2日に、要請のあった支援物資(灯油・菓子類)をトラックに積み込み鹿児島を出発し、みやぎ生協で「共同購入再開」のために物資の搬送などの支援を行なってきました。

7日には帰任した第三陣を本部職員らが出迎えました。帰任したメンバーからは「往復が大変でしたが、鹿児島から来たことに感謝の言葉をもらい、逆に元気をもらった」「鹿児島の組合員・職員の思いを届けてこれたと思う。まだまだ復興には道が長い様子ですが、できる支援を続けていきたい」などが報告されました。

※人的支援は一旦休止し、募金活動に集中します。



「生協が来るとうれしい」

生活の中でのつながりが生協で

<日本生協連 震災支援活動ブログより>

◆先週のチラシ配布のときには会えなかった組合員さんをたずねると、浸水して水浸しになった畳を上げているところでした。班担当の職員が「どこに行っていたんですか?」と訪ねると、「今まで避難所にいたんです」と組合員さん。これでお一人の安全が確認でき、お見舞い品をおわたしました。

一人暮らしの組合員さんは「これまでは避難所の配給品をたよりにくらししてきました。注文が少なくても毎週配達してくれる生協さんが来週から来てくれるので大変助かります」と喜んでいました。

(写真:班の担当者がお見舞い品を渡しながらかたまりの様子を聞く)



職員は労働組合で物資支援も



コープの職員がつくる労働組合でも、全国の生協労働組合からの呼びかけに応じて「物資支援」として、全事業所の労組員に呼びかけ物資を集めて、宅配業者に託しました。

日本生協連の山下会長が福島県庁で義援金第一次分を手渡しました。

さらに募金の輪を広げましょう

◆多くの組合員のみなさんから募金が寄せられています。寄せられた募金は日本生協連を通して、各生協連を通して被災されたみなさんへ届けます。今回の震災では被害が広域にわたっていることもあり、今後の公的機関の見解等を参考にし、各県の生協連に按分します。ただ、一刻も早く被災者に募金を届けるために、一次分として被災三県へ送ることを決め、4月6日には日本生協連の山下会長が福島県庁を訪れ、義援金の一次分を手渡しました。

生協コープかごしまでの募金は当面4月末まで継続します。多くの方の継続した募金を呼びかけます。※右記の募金額は3月末日の確定額です。(4月1日以降の分は含まれません)



募金一次分を手渡す日本生協連の山下俊史会長(右)

募金累計(3月決算分):

お店=5,997,060円・共同購入個配=1,785,204円

+取引先職員様募金・各種組合員活動会場・職員他=816,403円